

平成 25 年 12 月 5 日 00147 号

編集者:佐藤 寿春

北見市幸町 8 丁目 4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

satou.toshiharu@navy.plala.or.jp

北見武道通信

ニュースレター【事務局情報】

【第 18 回北見市総合武道祭レポート⑥北見弓道会】

10月19日(土)に行われた、北見市武道館開館記念第18回北見市総合武道祭での6番目は、射場の扉を全開にした弓道場での演武となりました。北見市弓道会副会長 高山節子先生にコメントを頂きました。

「今年の武道祭は、待望の武道館で開催され、弓道場では三人一つの射礼の演武が行われました。これまでの弓道場に比べ2倍以上も広い射場で、緊張の中にも伸び伸びと行射でき、大変感激しました。今後、更に新たな気持ちで弓道に精進したいと思います。」

次回は、北見市柔道協会演武者紹介となります。

平成25年度「第5回理事会」のご案内

日時：平成25年12月10日（火曜日）午後7時00分～

場所：北見市武道館研修室

内容：①. 特定非営利活動法人北見市武道振興協会理事会（報告事項及び協議事項）

②. 北見市武道館管理運営委員会（報告事項及び協議事項）③. その他

連載 中国「老子」の思想 三十一章 軍隊の本質

武器は不吉な道具だ。それは、それは、片寄ったはたらきしか持たない。だから「道」を体得した聖人は、武器を使わない。君子は、左を上位とするが、武器を使う時だけは、右を上位とする。武器は不吉な道具だから、もともと君子の使うべきものではないが、やむを得ずを使うときには、無欲でなければならない。

したがって、戦に勝っても、名誉とは考えない。それを名誉と考える者は、生まれつきの人殺しである。人殺しは、何をくろんでも、人々に受け入れられるわけがない。

祝いの席では左を上位とし、葬儀の席では右を上位とする。それが世間の習慣だ。ところが軍隊では、副将軍が左に坐り、大將軍は右に坐る。つまり軍隊は、つねに葬儀の作法になっているわけだ。

人を無数に殺すがために、戦に勝っても、喪に服し、悲しみの涙を注ぐ。これが軍隊本来の姿なのだ。

* 〈君主〉 治者階級に属する者のこと。老子は理想的人格を「聖人」という言葉で表し、「君子」はそれより一段低い意味に用いている。〈左を上位とする〉古代において左右いずれを貴んだか、節が分かれていて一定しない。ただ、南方の楚の国では左を貴んだらしいというので、老子を南方出身と見る学者もいる。原文：夫佳兵者不祥之器、物或惡之。故有道者不處。君子居則貴左、用兵則貴右。兵者不祥之器、非君子之器、不得已而用之、恬憺爲上。勝而不美。而美之者、是樂殺人。夫樂殺人者、則不可以得志於天下矣。吉事尚左、凶事尚右。偏將軍居左、上將軍居右。言以喪禮處之。殺人之衆、以悲哀泣之、戰勝以喪禮處之。三十二章に続く

